

ははじめに
 新年度を迎えました。本年度も愛知県埋蔵文化財センターでは、様々な事業を計画しております。

まず発掘調査ですが、昨年度から続く設楽ダム建設事業に伴う調査の他、下図に示す遺跡の調査を予定しております。調査成果や、現地説明会の開催情報は、私どものホームページなどで紹介してまいります。

普及・公開事業も多数計画しております。まず春には弥富市の愛知県埋蔵文化財調査センターで「春の埋蔵文化財展」を開催します。平成29年度の調査で見つかった遺物の速報展で、期間中の4月7・8日(土・日)には「やとみ春まつり」に合わせて「考古学緑日」と名付けたイベントも開催します。

夏は特に計画はございませんが、遺跡の現地説明会をこの頃から順次開催する予定です。

秋は盛り沢山な内容です。まず、10月20・21日(土・日)に清洲市民センターにおいて「きよす歴史フェア」を開催します。このイベントは、愛知県教育委員・清須市教育委員会と共催事業で、朝日遺跡をはじめとした地域の歴史・文化財の周知を図るとともに、平成32年度開館予定の新資料館を紹介するイベントです。内容は朝日遺跡をテーマとした講談と

トークイベントや、火おこし体験や勾玉作り体験など多数のワークショップで構成されています。なお、関連事業として、二つのイベントを計画しております。一つは、清須市歴史資料展示室を会場とした、「秋の埋蔵文化財展」の開催です。清洲城下町遺跡出土の文字資料を中心とした展示で、期間は9月8日(土)から概ね年末まで、期間中には展示説明会を2回実施します。もう一つは「市民大学 in きよす」と命名した講座とワークショップを組み合わせたイベント。こちらは、清洲市民センターで11月10・11日(土・日)に開催します。

埋文桜ニュース

発行日：二〇一八年四月四日
 発行者：公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団
 愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017
 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24
 電話：0567-67-4163
 ファックス：0567-67-3054
 ホームページ：http://www.maibun.com/
 メールアドレス：doki@maibun.com

連続歴史講座 今年も4回開催！
墓制の考古学
 最新の発掘調査成果を中心に「墓制」に焦点をあてた講座

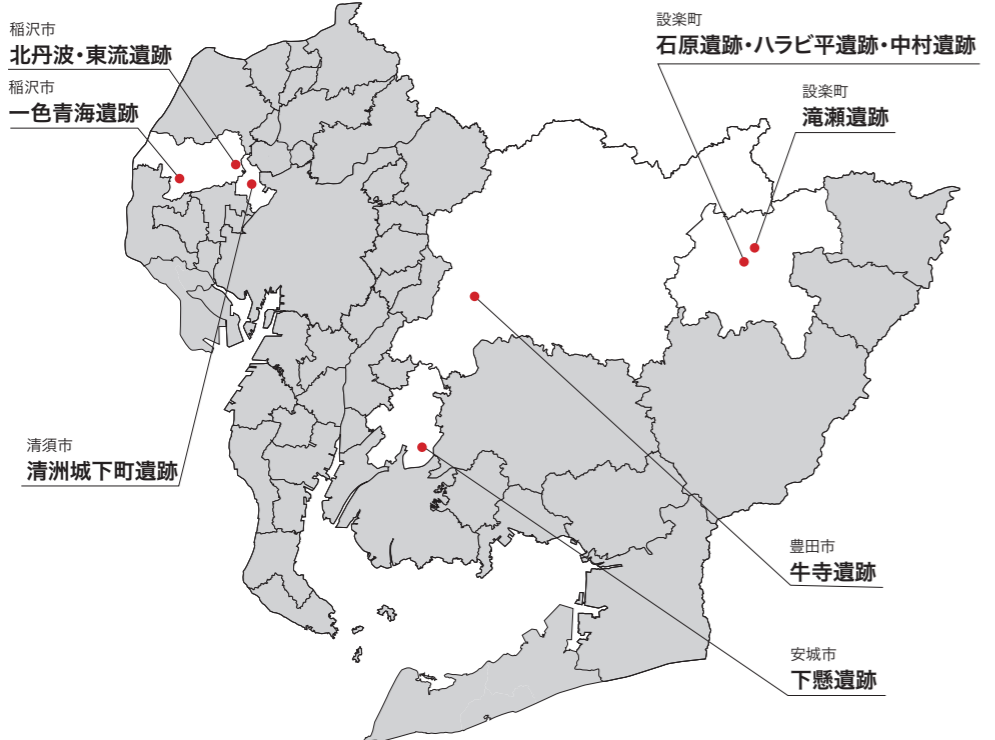
2018考古学の祭典
考古学セミナー
 気候変動と弥生社会
 2018年11月17日(土)・18日(日)
 名古屋博物館にて開催！

平成30年度 発掘調査成果報告会
新設楽発見伝5
 平成31年3月開催予定！

また、当センターの業務を皆様にご紹介する「バックヤードツアーと考古学体験」や、好評をいただいております「連続歴史講座」も計画しております。本年度のテーマは「墓制の考古学」です。この他に、設楽地区の発掘調査現場を会場とする「発掘体験」などの体験型イベントも予定しております。また、11月17・18日(土・日)には、名古屋博物館において愛知県内を中心とした考古学に関わる人たちが集まり、それぞれの最新情報をお知らせするイベント【考古学セミナー】あいちの考古学【2018】も開催します。

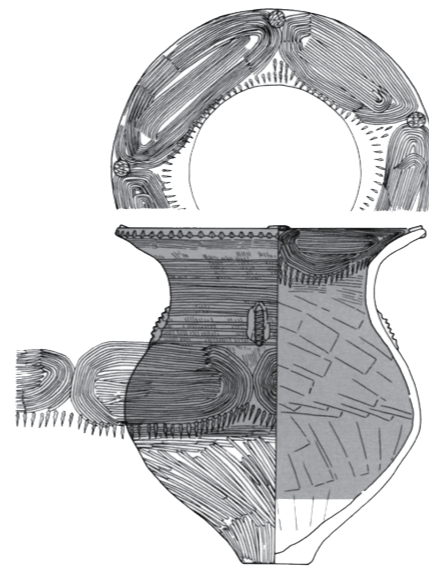
以上の様に、当センターでは本年度も積極的な情報発信に努めます。皆様のご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

平成30年度の調査予定遺跡



春の特別公開 2018 国指定重要文化財

朝日遺跡のユニークな土器たち



▲NO.144
 グルグル模様、みえるかな？



▲NO.37
 細かい模様と赤色をみて！



▲NO.118
 な〜んで穴があいてるのかな？

◀NO.19
 何かを盛りつけてたんですよ、きっと

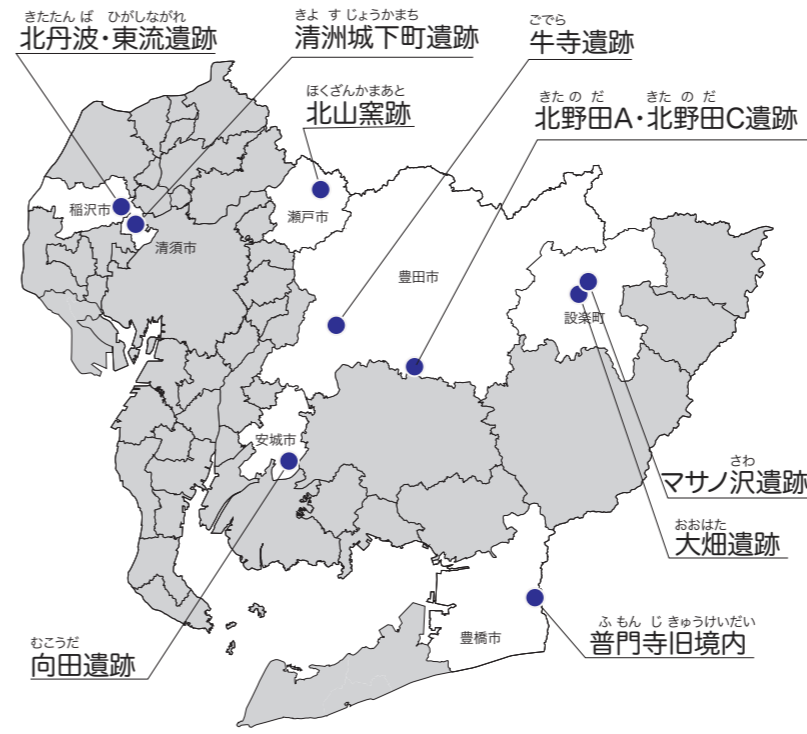
平成30年度 イベント案内

4	4 (水)	春の埋蔵文化財展 『やとみ新発見展』(しんはっけんでん)！2018』 & 春の特別公開	予約不要・参加費無料	☆昨年度の発掘調査成果について、県内で一番早く展示解説を行います。また、国指定の重要文化財である朝日遺跡の遺物を特別公開します！	4月7日(土)・8日(日)はキネクトゲームやツボ釣り、火起しマスター、輪投げのイベント開催！	どなたでも							
5	5 (木)												
6	6 (金)												
7	7 (土)	秋の埋蔵文化財展 「きよす歴史フェア」	予約不要・参加費無料 == 詳細はHPにておしらせします。	☆平成32年度にリニューアルする清洲貝殻山貝塚資料館の周知と、地域の歴史や文化財に親しむイベント！	○開催日時：10月20日(土) 12:00-16:00 10月21日(日) 9:00-16:00 ○会場：清洲市民センター ○内容：キネクトゲームや勾玉づくり、土器作りなど子供から大人まで楽しめるワークショップば盛りだくさん♡	どなたでも							
8	8 (日)	関連事業1 清須市歴史資料展示室 企画展 入館無料		☆平成29年度に保存処理が終了した清洲城下町遺跡の棟桁(こけらきょう)の展示と、これまでに発掘された文字資料の展示を行います。	○開催日時：9月8日(土)から12月末日まで ○会場：歴史資料展示室(清須市立図書館内)								
9	9 (月)	関連事業2 「埋文市民大学 in きよす」	参加無料	☆正解のないワークショップ「埋文市民大学」。今年は「弥生の日」と「戦国の日」を開催します。1回の開催人数16名程度。要申込	○会場：清洲市民センター ○開催日時：11月10日(土)「弥生の日」・11月11日(日)「戦国の日」 両日も午前・午後2回開催予定								
10	10 (火)	連続歴史講座 『墓制の考古学』全4回		☆設楽地域などの最新の発掘調査成果を踏まえ、縄文時代から古代中世に至るまでの墓制について、専門の講師が解説します。	会場：愛知県埋蔵文化財調査センター 2階研修室 時間：午後1時~3時	大人向き							
11	11 (水)	『バックヤードツアーと考古学体験』		☆バックヤードツアーや考古学の体験イベントを通じて、当センターの事業を紹介します。	○開催予定日：11月上旬を予定しています。	どなたでも							
12	12 (木)	2018年度『考古学セミナーあいちの考古学2018』	予約不要・参加費無料	愛知県内と近隣の情報を手に入れることができるビッグイベント！	日時：11月17日(土)・18日(日) 会場：名古屋博物館 地階講堂(発表)・展示説明室(ポスターセッション) == 詳細が決定次第HPにておしらせします。	大人向き							
1	1 (金)	愛知県旭高高原少年自然の家	**愛知県旭高高原少年自然の家は、愛知県教育スポーツ振興財団の管理施設です。	旭高高原少年自然の家主催事業 『レッツ！発掘体験と温泉』	要予約 受付開始予定8月下旬 ○開催時期：10月27日(土)・28日(日) ○発掘体験遺跡：東三河地域を予定 == 詳細は旭高高原少年自然の家のHPをご覧ください。	どなたでも							
2	2 (土)	歴史講座 「発掘された西三河の城」	予約不要・参加費無料	☆岡崎城や豊田市内の城の発掘調査成果について報告します。	会場：愛知県青年の家(愛知県岡崎市美合町並松1-2) 開催日：平成31年2月予定 == 詳細が決定次第HPにておしらせします。	大人向き							
3	3 (日)	設楽ダム関連発掘調査成果報告会 『新設楽発見伝5』	予約不要・参加費無料	☆平成30年度の設楽地区の発掘調査成果の報告会です。	== 詳細が決定次第HPにておしらせします。	大人向き							

平成29年度の主な発掘調査成果

平成29年度に行った当センターの発掘調査は、尾張地域で3遺跡、三河地域で5遺跡です。ここでは、このうちトレンチのみの発掘調査を行った牛寺遺跡をのぞく7遺跡について紹介します。

一方、発掘調査の完了した遺跡は整理・報告書編集へと進みます。平成29年度は6つの事業についてこれらを実施しました。このうち、設楽地区の西地・東地遺跡の整理調査の成果について紹介します。



ハート形土偶や土器棺墓が注目の遺跡

マサノ沢遺跡 (北設楽郡設楽町小松)

マサノ沢遺跡は豊川支流の境川左岸の段丘面に立地しています。今年度の発掘調査では、縄文時代後期の配石墓とそこから岩偶・岩版類が出土し、別の土坑ではハート形土偶と岩偶・岩版類が相伴しており、祭祀具の多い点が注目されます。また、縄文時代晩期後葉、弥生時代前期の土器を棺にした土器棺墓が6基検出されました。これに対して竪穴建物跡などの集落の遺構は見つかっておらず、主に祭祀や墓に利用されていた場所と考えられます。



▲マサノ沢遺跡 遠景



▲マサノ沢遺跡 土器棺墓

多様な石囲炉に中部高地とのつながり

大畑遺跡 (北設楽郡設楽町川向)

大畑遺跡は豊川支流の境川沿いに立地しています。その標高は430〜446メートルで境川とは60メートル以上の高低差があり、遺跡中央にくぼ地と湧き水のある特異な地形となっています。そのくぼ地周辺などには縄文時代とみられる陥穴8基、さらにそれを見下ろす丘陵頂部には竪穴建物跡12基が検出されました。竪穴建物跡は縄文時代中期後葉で、床面に石囲炉のあるものが3基あります。これらは全て異なるタイプですが、副炉のあるものや円形の炉は中部高地に分布しており、その地域とのつながりが注目されます。



▲大畑遺跡 副炉のある炉

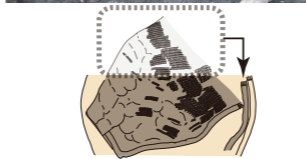
縄文時代後期の土器群が復元された!

西地・東地遺跡 (北設楽郡設楽町西地・東地)

西地・東地遺跡は、寒狭川(豊川上流)の左岸に位置し、段丘面と山裾の斜面に立地する縄文時代中期末〜後期初頭の集落を中心とする遺跡です。縄文時代以外には、鎌倉時代以降の集落や陶磁器・古銭なども検出されています。今年度は発掘調査で得られたデータと出土遺物の整理をおこないました。石囲炉から出土した縄文土器の復元によって、文様や形の異なる数個体が同時に存在したことがあきらかになりました。また、縄文土器の出土分布からは、集落の位置や大きさが時期によって変化していることも判明しました。



1201S1 炉内土器

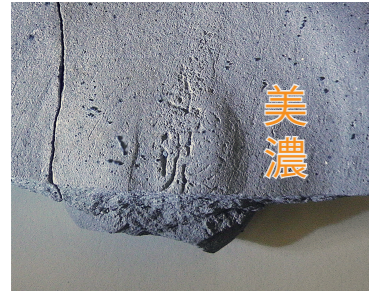


出ている部分の破片を上下逆さまにして入れたようです ▲西地・東地遺跡

尾張国府域か? 奈良時代の竪穴建物跡を検出

北丹波・東流遺跡 (稲沢市下津丹下町ほか)

北丹波・東流遺跡は、これまでに8世紀初頭(奈良時代初め)の竪穴建物跡や「美濃」刻印須恵器などが検出されています。今回の発掘調査でも、奈良〜室町時代の遺構が多数確認されました。また須恵器蓋の内面に「美濃」刻印の一部がみられるものもあります。この遺跡は尾張国府跡から東へ約2km位置していますが、国府開始期に集中して集落が営まれているのが特徴です。



▲線刻のある須恵器 (北丹波・東流遺跡)

川の後にできた江戸時代初めの城下町

清洲城下町遺跡 (清須市清洲)

今回の調査地点は船舳橋東側に位置します。遺跡の基盤層は河川堆積の砂層で、その上で戦国時代の自然流路と、さらにそれが戦国時代末期に埋まった後につくられた結構を用いた井戸(井戸側)や土坑などが検出されています。江戸時代の古城絵図によれば、今回の調査地点は中堀と外堀の間の町屋敷であったと推定されます。このことが発掘調査によって確認されました。



▲調査区 遠景 (清洲城下町遺跡)

明治35年 操業開始の北山窯跡

北山窯跡 (瀬戸市落合)

北山窯跡は瀬戸市品野地区にある戦前まで操業していた窯跡で、これまでに連房式登窯であることや、焼成室・煙道・煙突に加えて作業用の平場が検出されています。今回の調査では、平場へ登る階段と、多量の窯道具からなる物原層が見つかりました。この層の下からは小規模な建物跡と推定される遺構が確認されました。物原層からは窯道具の他に、陶器の植木鉢、磁器の飯茶碗などが出土しています。



▲物原層の掘削 (北山窯跡)

古墳時代前期の土師器甕がゴロンゴロン!

向田遺跡 (安城市東町)

向田遺跡は古墳時代前期を中心とする遺跡です。遺跡の西側には碧海台地の崖がせまり、その上には獅子塚古墳があります。発掘調査では8基の土坑が検出され、特に土坑111SKでは上・下層からそれぞれ土師器の甕が出土しています。上層のものは木質遺物が伴った状態で2個体の甕がほぼ完形の状態で出土しているのが注目されます。



▲111SK 下層 (向田遺跡)

現本堂付近で墨書を含む多数の山茶碗が出土

普門寺旧境内 (豊橋市雲谷町)

普門寺は、中世から続く山林寺院で、周辺の山腹には多数の平場群や堂跡が旧境内として遺跡になっています。調査は2地点で行い、本堂背後の斜面では一辺約2.3メートルの石積み遺構が検出され、古銭や鉄釘が出土しています。一方、本堂から南側の斜面では、多量の土師器小皿が出土しています。両地点からは、平安末〜鎌倉時代の渥美産山茶碗のほか、戦国時代までの青磁碗や石硯などが出土しており、中世山林寺院の勢力をみる事ができます。



▲紅葉が美しい調査区遠景 (普門寺旧境内)

鎌倉時代後期の山間地開発の様子が見えてきた

北野田A・北野田C遺跡 (豊田市蕪木町)

北野田A・北野田C遺跡は旧下山村の山間地の谷筋に展開している遺跡です。ともに一三世紀後半〜一四世紀前半に人々の活動があつたと考えられています。北野田A遺跡からは百基を超える柱穴群が見つかりました。北野田C遺跡からは掘立柱建物跡が確認されました。また、大量の木材が出土しています。その他、両遺跡からは大量の山茶碗が出土しています。このような山間地に人が入り生産活動が行われていたことは驚きです。



▲北野田A遺跡 全景